

令和6年度 第6回佐倉市子育て支援推進委員会 会議録

会議名称	令和6年度 第6回佐倉市子育て支援推進委員会
開催日時	令和7年3月21日(金) 午後1時15分～午後3時
開催場所	佐倉市役所 社会福祉センター3階中会議室
出席者等	<p>●委 員 阿部委員長、斉藤副委員長、本間委員、荒畑委員、和泉委員、大西委員、中間委員、桑原委員、秀島委員、佐藤委員、飯田委員</p> <p>●事 務 局 こども政策課 齋藤課長、長谷川副主幹、田中副主幹 小林主任主事、笠松主任主事、根本主事</p>
会議議題	<p>議題 等 (1) 根郷保育園民営化について (2) 利用定員の設定について</p> <p>報告 等 (1) 佐倉市こども計画について (2) 令和7年度のスケジュールについて</p>
	<p>【1 開会】</p> <p>【2 議題等】</p> <p>●議題1 根郷保育園民営化について</p> <p>●議題2 利用定員の設定について</p> <p>【3 報告等】</p> <p>●報告1 佐倉市こども計画について</p> <p>●報告2 令和7年度のスケジュールについて</p> <p>【4 閉会】</p>

(事務局)

【配布資料を確認】

(委員長)

【出席人数を確認】

議題 1 根郷保育園民営化について

事務局から「資料 1 第 2 次佐倉市立保育園等の在り方に関する方針」及び「資料 1-2 第 2 次佐倉市立保育園等の在り方に関する方針の現状数値」をもとに、根郷保育園民営化に係る背景等を説明。

(委員長) 根郷保育園の民営化については、今後 1 年間を通して検討していく議題である。

民営化で削減できる財源を、今後保育の充実に充てていくべきである。単純に財源を減らすための民営化ではない。

場合によっては、すでに 5 年経過している現行の方針を見直し、「第 3 次佐倉市立保育園等の在り方に関する方針」を検討していくべきなのか考える必要もでてくる。

根郷保育園と同じ中域福祉圏に馬渡保育園があるが、中心部から離れている。公立保育園が持つ役割とは、税金を使って民間が提供しにくいサービスを提供することである。馬渡保育園を基幹保育園として、そのようなサービス提供を行うことで良いのか考えることも必要である。

根郷保育園は、利用する人数が多い施設であるので、民営化した際に、トラブルや問題を最小限に抑えられるにはどうしたらよいかイメージして意見いただければと思う。

(委員) 根郷地区に住んでいる。こどもが小さい頃、根郷保育園と佐倉保育園しかなく、こどもを預け、電車で仕事に行く場合、選択肢がなかった。できるかぎり、駅に近い保育園はなくさないで欲しい。

こどもの数が減少していく中で、ないとは思いますが、経営悪化により保育園を廃園するようなことになったときに、その受け皿はどうなるか心配である。民営化を行った場合、公立園を引継ぐ民間事業者についても気になる。

(委員) 施設の安定した運営を行うため、利用するこどもの人数の設定をきちんと行うべき。根郷保育園と同規模の募集では、事業者からの応募が難しいのではないかな。

こどもの減少、高齢者の増加、発達課題を抱えるこどもの増加等、地域のニーズを汲み取り、単なる民営化ではなく、保育を含めた地域福祉拠

点としての在り方を検討していくべきではないか。

（委員）保育士不足の現状を踏まえながら、定員を設定していくことが重要だと思う。

質の担保という観点からいうと、一定の水準を確保するため、研修受講を公募条件に含める等対応が必要。公立保育園がセンター的機能を果たしながら、全体の質の担保をできるような仕組みを検討する必要があるのではないか。

南志津保育園を民営化した後のアンケートでは、8割が満足していたが、残りの2割がどういう課題等を指摘してたのかということをしちっと踏まえた上で、公募条件やスケジュール設定を行っていくべき。

民営化4年前から入園を抑制しているスケジュールについて教えてほしい。

（事務局）例えば民営化の対象園に0歳児、1歳児入れた場合、民営化後、他園への転園が困難な場合があるため、入園の抑制を行っている。本措置は、南志津保育園の民営化の際に実践しており大きな混乱もなかったため、根郷保育園民営化においても引き継ぎたい。

（委員長）保育士の確保について、市で議論していることや不安はあるか。

（事務局）保育士の処遇改善を行っていく必要があると認識している。令和5年度までは保育士一人当たり月26,000円、令和6年度からは月3万円を支給している。近隣自治体との競争になっており、財政力の高い自治体が有利。

（委員長）地域の福祉を考える際には、当然乳幼児だけではなく、小学生等も含めて検討はした方が良いが、そういう機能を果たしてくれる事業者が手を挙げてくれるか疑問。地域に求められる機能は何なのかを委員会として、市に伝えていくことが良いのではないか。

南志津保育園民営化後のアンケートにおいて、不満とされた意見で気にしているものはあるか。

（事務局）不満で大きかったものは、保育士の対応。フィードバックが南志津保育園に比べて少ないことが大きな要因。後継園とも保護者に伝える努力をしていこうというような話をした。

（委員）南志津保育園で働いていた職員が民営化後の施設に勤務してい

るケースはあるか。残る先生がいれば、前の園の雰囲気ややり方を引継ぎ、スムーズに移行できるのではないか。

（事務局）既存の方針では、合同保育を行うことにしており、南志津保育園の民営化の際に実施した。

南志津保育園民営化では、新規開設園に継続して勤務している職員はいない。

（委員長）地域の福祉について、市にどのような要望があるか。

（事務局）佐倉市こども計画を策定する際のアンケート調査では、一時預かりや託児といった、一時的な預かりサービスを求める声があった。

（副委員長）老幼の館は、高齢者から幼児みんなが集える施設としてスタートした。高齢者は知識と経験があって、こどもに読み聞かせや将棋教室等対応してくれる。地域の人たちとの交流や支えで成り立っている。新しく設立する園からも、発信することで関わってくれる人が増えるはず。地域の見守りや声かけができるよう、園と地域の方をうまくつなげられれば良い。

（委員）小学校等の空き教室を活用して、高齢者のデイサービスセンター作っている自治体もある。またインクルーシブ教育として、児童発達支援センターと保育所を併設しているケースもある。高齢者、障害者、子育て支援世代を対象とした新しいモデルも提供できる。

（事務局）根郷保育園の敷地内に学童保育所が建っている。その施設自体も古いので、同時に民間に移管することも考えられる。保育園、学童保育所と今議論になっている機能を同じ施設で兼ねることは、理論上は可能。

（委員長）根郷保育園のある地域は、高齢化率が高い。また、南部児童センターといった施設がある。地域のニーズを把握し、福祉サービスを提供できるようなモデル地域として検討しても良いのではないかと感じた。どのような機能にするか焦点を当てる必要がある。

（副委員長）保育園に何かひとつ別の機能を加える。市は地域のニーズを提示し、事業者がプロポーザル方式で提案するような形が良いのではないか。

(委員) 保育園の新設場所はどこになるのか。学童が併設されており、小学校と離れてしまうのは避けた方が良いと思うが、市として想定はあるか。

(事務局) 佐倉東保育園の民営化では、同じ敷地に、南志津保育園の民営化では、別場所に新設している。場所については、事業者からの提案内容をどのように評価するか含め今後検討していく。

(委員長) プロポーザルの条件として、経験のある保育者の確保を要望できるか。

(事務局) 佐倉東保育園、南志津保育園の民営化のときも募集の際に条件を設けている。民営化前の園に勤めてた職員採用については、努力義務として明示はできるが、どれだけ実効性を持つか。

(副委員長) 佐倉東保育園の民営化時には、事前に面接希望調査を行い、引続き民営化後の施設で働くかどうか意向を確認した。民間事業者にも理念や考え方もあり、採用には慎重にならざるを得ない。

(委員長) 根郷保育園の民営化については、本日出た意見をまとめ、次回継続審議としたい。

議題 2 利用定員の設定について

事務局から「資料 2 特定教育・保育施設の利用定員の設定に係る意見聴取等について」にもとづき、令和 7 年 7 月 1 日に開設する保育所「ユーカーしぜんのこほいくえん」について説明。

(委員) 3～5 歳児の定員が各 1 人なのはなぜか。

(事務局) 年度途中に開設した他の保育所の状況を見ると、定員は少なく設定されている。

3～5 歳は、既に別の保育園に在籍している場合が多いため、定員を各 1 人にしている。3～5 歳の児童が 2 人以上いても、定員数に関わらず受け入れられる。

(委員) 児童の人数が増えた場合、随時、保育士を増やすということか。

(事務局) その通り。保育士の配置基準があり、児童の人数に応じて保育士を確保する必要がある。

報告

(1) 佐倉市こども計画について

(事務局) 意見公募手続きとして、2月14日から3月16日までパブリックコメントを実施した。1名からこどもの居場所づくりに関わるご意見をいただいたものの、計画を直す内容ではなかった。

(2) 令和7年度のスケジュールについて

事務局から「資料3 令和7年度スケジュール案」にもとづき説明。

(閉会)